



熊本震災の募金活動！皆さんのご協力をお願いします。

5月25日(水)の朝学活の時間に、保健体育委員会が募金活動に向け、「休校していた熊本の私立の・公立の学校すべてが開校になりましたが、今もなお道が危険なために保護者と登校するようになっている学校や、まだ避難所である体育館から登校している子どももいます。一人でも多くの人を助けられるように、皆さんのご協力をお願いします。」というメッセージを読み上げました。



翌26日から、朝の登校時、玄関前で委員会のメンバーを中心に募金活動を始めています。

朝の学校玄関での募金活動であり、通勤途中の皆さんからもご協力をいただいています。

休校が続く中、避難所にいる熊本の子ども達が「早く学校に行きたい」と話している場面が報道でよく取り上げられていました。学校に行けることが普通であって普通ではないこと、感謝の気持ちを持って学校生活を送り、今自分たちにできることを考える募金活動にしたいですね。



わかやまキャリアガイダンス！！

5月26日(木)、「働くことの意義・魅力・やりがい～地元・わかやまで働いて～」をテーマに、「わかやまキャリアガイダンス」が開催されました。これは、和歌山で働く皆さんをお迎えし、テーマにそったお話を直接お聞きし、自分の生き方や進路について考えること、また郷土和歌山の魅力について学ぶことを目的に実施されるものです。今回は2年生を対象に、コーチング、地方新聞、書店、医師の4つの職業に関する授業が行われました。

4つの職業から2つを選択する方式とし、15名程度の小グループに分かれ、和歌山を愛する皆さんの思いあふれる講演やワークショップを体験させていただきました。

第1回伏虎中自慢大会 (和歌山新報)

「どんどん他の県に和歌山のいいところを伝えたくなった。」「他の人と意見が違ったりして、新しい発見も多かった。」「取材は楽しく夢中になりました。」

「発表者の意見も聞き、わくわくしながら授業を受けました。」



和歌山に住んでよかった！ 地元を愛する本屋さん (宮脇書店)

「本は人と人をつなぐ。人の温かさが伝わる。」「私も、人のために想えるようになりたい。」「和歌山にすごく誇りを持ってました。」



Dr. タイガーが10代の君に伝えたいこと

「やる気になれば、いつでも一発逆転人生」

(中谷医科歯科病院)

「手術の縫合の仕方を見て、凄いと思いました。」

「誰にでも可能性はあるのだと思いました。」

「常識にとらわれずに生きることもできると思いました。」



一人ひとりが人生のヒーロー、ヒロイン！

「ワクワクな未来を探しにいこう！！」

(チームビルディング BLOOM)

「たくさんの夢を持つことは素晴らしいものだと思います。」

「自分に減点をするのではなく、加点していくことが大切だと分かりました。」



「卒業後の自分を考えるのも楽しいと思いました。」

【体操】県中学校春期選手権大会

5月28日 和歌山県立体育館

中学体操競技

個人総合第6位 椿原凜大(1年)

【新体操】

総合優勝 ロープ・フープ2種目優勝

半田萌映(1年)

